

令和6年度 事業計画書

社会福祉法人 楽水会

1、基本理念と運営方針

基本理念

「今日を楽しく、その人らしく」

利用者の皆様が一日一日を楽しく過ごし、ご家族・地域の皆様にも信頼される、笑顔あふれる施設づくりに努めます。

施設運営の基本方針

- 私たちは、利用者の人格を尊重し、一人一人のニーズやこれまでの生活を大事にするユニットケアの理念を念頭に、利用者・職員が一つの家族として支えあう介護を目指します。
- 私たちは、各ユニットで利用者が、家庭的な雰囲気の中で、安心して生活できるようチームケアに努めます。
- 私たちは、地域の皆様との交流を通じ、地域に愛され、信頼される施設を目指します。
- 私たちは、より良いサービスの提供のため、職員研修を通じ、今後も介護・看護の技術向上に努めます。

2、運営事業と役員等

(1) 指定事業

事業の種類	事業所名称	定員	開設年月日
介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム アミーガはまゆり	90名	平成15年7月1日
短期入所生活介護	アミーガはまゆり指定短期入所生活介護事業所	10名	平成15年7月1日
介護予防短期入所生活介護			平成18年4月1日
通所介護	アミーガはまゆりデイサービスセンター	25名	平成15年7月1日
介護予防通所介護			平成18年4月1日

(2) 役員等（令和6年3月末日現在）

【評議員】

小笠原栄治、佐々木伸一、細川恵喜、清原士朗、千葉清則、菊池郁夫、久保喜雅

【理事・監事】

理事：神林敦彦、佐々木喜一、有井洋成、久保奈穂、高橋ひろみ、久喜 眞

監事：松田宇善、小笠原秀一

【評議員選任・解任委員】

監事：松田宇善、小笠原秀一

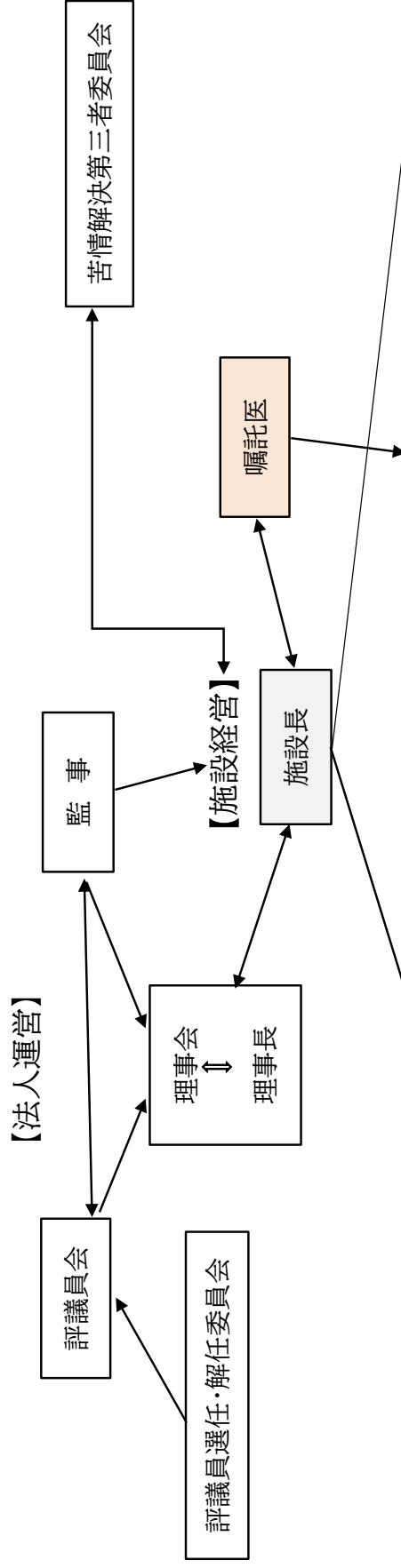
外部：斎藤敦子、唐沢一江、千葉 敬

職員：高橋ひろみ、及川隆行

【苦情解決第三者委員】

松田宇善（監事）、小笠原秀一（監事）

3 運営組織



特別養護老人ホーム アミーガはまゆり(長期 90 床、短期 10 床)		施設長		アミーガはまゆり デイサービスセンター
総務課	生活支援課	介護サービス課	看護課	管理者(施設長兼務)
総務課長 事務員 運転手兼営繕員 清掃員 洗濯員 施設管理員	生活支援課長 生活相談員(長期) 生活相談員(短期) 介護支援専門員 管理栄養士 管理栄養士 調理(委託)	介護サービス課長 1階フロアマネジャー 2階フロアマネジャー ユニットマネジャー ユニットリーダー ユニットサブリーダー 介護員 施設・設備管理担当	看護課長 主任看護師 副主任看護師 看護師 機能訓練指導員(看護師兼務)	マネジャー リーダー サブリーダー 生活相談員 介護員 看護師兼機能訓練指導員 車両管理担当(運転手兼営繕員)

4. 委員会構成

「運営管理委員会」

委員会名称	会議内容	記録者	参加対象職員	開催予定
運営委員会	施設運営方針の検討・経営状況確認等	介護サービス課長	理事長、施設長	第3木曜日
安全衛生管理委員会	安全管理体制の検討・管理状況確認等		生活支援課長	
防災委員会	災害対応の検討、防災訓練の実施、BCPの変更・更新	さくらマネジャー	介護サービス課長	
口腔内のたんの吸引等安全管理委員会	たんの吸引・経管栄養等に関する対応の検討		看護課長	
褥瘡対策委員会	褥瘡発生対応と予防対策の検討等	看護課長	主任生活相談員	
感染症対策委員会	感染症・食中毒発生防止、BCPの変更・更新		介護支援専門員	
入退居検討委員会	入退居者の検討等	主任生活相談員	各マネジャー	
身体拘束廃止検討委員会	身体拘束に関する検討		管理栄養士	
高齢者虐待防止委員会	虐待防止に関する検討	フロアマネジャー	機能訓練指導員 等	

「業務検討委員会」

委員会名称	会議内容	記録者	参加対象職員	開催予定
生産性向上委員会	業務改善、マニュアル整備、テクノロジー等の活用	介護サービス課長	施設長、生活支援課長	第2木曜日
ケアプラン委員会	ケアプラン、24Hシート、LIFEの活用に関する検討	介護支援専門員	介護サービス課長	
栄養管理委員会	栄養管理指導、食事等に関する検討	管理栄養士	看護課長	
介護事故防止検討委員会	介護事故防止の検討、安全衛生に関する事例検討	あじさいマネジャー	主任生活相談員	
口腔衛生管理委員会	口腔衛生に関する検討、口腔ケア指導の実施状況報告	コスモマネジャー	介護支援専門員	
研修委員会	各種研修会の企画立案と実施	ひまわりマネジャー	各マネジャー	
広報委員会	広報誌の発行、ホームページの作成・更新管理	たんぽぽマネジャー	管理栄養士	
行事委員会	観桜会・夏祭り・敬老会等の企画立案・実施	デイマネジャー	機能訓練指導員 等	

「デイ会議」

会議名称	会議内容	記録者	参加対象職員	開催予定
デイ支援会議	デイサービスセンターの運営に関する検討 認知症事例検討・会議の実施状況報告 生活支援ハウスの活用に関する検討	デイ生活相談員	施設長、生活支援課長、介護サービス課長、デイマネジャー、生活相談員 等	第1火曜日

5、経営基盤の確立等

- 各事業毎の目標値を次のとおりとする。

目標値	特養長期	88.0 人/日	稼働率 98%
	ショート	9.0 人/日	稼働率 90%
	通所	17.0 人/日	稼働率 68%

※長期の空室発生期間は、2週間を目途とする。

- 職員の処遇改善、各加算項目の取得、業務改善の継続、各種経費の削減等に努めながら、中長期的視点に立った健全経営を継続する。

6、情報公開等

- 経営の透明性の確保、財務規律の明確化等を図るとともに、各関係機関と連携し、ホームページ等による介護サービス情報の公表や各種情報の公開を継続する。

7、人材確保と育成、働きやすい職場づくり、設備等の改修

- 高校・専門学校・大学の新卒者採用と介護経験の有無を問わない各職種の社会人通年採用を継続する。
- 人材確保のため各関係機関の就職相談会・企業見学会等への参加を継続する。
- 職員の資質向上に資するため、キャリアパスや研修教育体系等に基づき、内部・外部研修への職員派遣、他施設職員等の研修受入れ、交流研修等を推進する。
- 資格取得支援を継続する。
- 職員の健康管理、各ハラスメントの防止、各種の事故防止、職員（男女）の育児休暇取得の継続等、働きやすい職場環境づくりを継続する。
- デイサービスセンター用ボイラー、照明設備、冷温水器、空調設備、通信機器、洗濯設備等の更新・改修を優先度・緊急度を見ながら今後3年程度を目途に順次進める。

8、地域貢献等

- 地域交流スペース・会議室等を地域や行政等のコミュニティースペースとして活用する。
- 児童・生徒・学生・社会人・他法人職員等の体験学習や研修の受入れを継続する。
- 地域の学校等への出前講座や zoom 等を活用した見学も継続する。
- 子供たちの遊びや学びの場の提供と居場所づくりに努める。
- 市民の福祉向上の一助として地域や行政、関係団体との連携を継続する。
- 地域貢献の一環として、施設の地域交流スペース・会議室・ICT 環境等を活用し沿岸地域の介護関係職員の資質向上等に資する研修等を継続する。

9、災害・感染症対応等

- 実効性のある避難訓練・感染症発生時の対応訓練等を企画・実行する。
- 県内各施設との災害時応援協定の活用や各関係機関との連携を継続する。
- 各感染症の感染予防対策の基本的対応を徹底する。

10. 教育研修体系

	新任・初級研修	中級研修	上級研修	主任者・管理者研修
目的	社会福祉従事者としての基礎知識 と技術の習得及び啓発意欲の付与	担当業務の実務能力・応用能力の向上 及び積極性・協調性の涵養	主体的リーダーの養成及び問題点の把握 と解決能力によるマネジメント	戦略的な経営計画の企画・立案・推進と 問題解決能力、人材育成など幅広い能力 の習得
対応役職	○新任～経験3年以内の職員	○リーダー（副主任） ○サブリーダー ○経験3年以上の職員	○課長補佐 ○マネジャー（主任） ○中級以上の職員	○施設長 ○事務長 ○課長
施設内研修	○新任・初級研修 ○介護技術基礎研修 ○現場実務研修	○ユニットリーダー・副主任研修 ○介護福祉士取得対策セミナー ○新任職員指導者研修	○ユニットマネジャー・主任研修 ○職員の育成方策 ○ユニットマネジメント戦略	○法人理念と施設経営 ○サービスの自己評価・第三者評価 ○サービスの情報の公表制度 ○ストレスマネジメント
施設外研修	○福祉関係法の理念・動向の理解 ○職業倫理・法令順守	○（社福）楽水会の理念と経営方針・事業運営方針 ○利用者家族の理解 ○個人情報保護 ○身体拘束廃止、リスクマネジメント、緊急時対応等）	○労働関係法と法人の諸規定 ○介護技術、認知症ケア、ケアプラン、食中毒・感染症 予防、看取りケア、栄養ケア、	○ユニットケア管理者研修 ○介護保険関係セミナー ○福祉人材育成セミナー ○会計・事務管理セミナー ○労働関係管理セミナー ○労働関係ワークショップ ○先進地施設等の視察研修
資格取得・自己啓発	○介護職員初任者研修 ○介護職員実務者研修	○介護福祉士 ○准看護師 ○栄養士	○介護リーダー研修 ○社会福祉従事者専門研修 ○認知症介護実践リーダー研修 ○先進施設等における実務研修 ○リスクマネジメント研修（上級） ○介護福祉士会研修 ○福祉サービス苦情解決セミナー ○他施設職種交換研修 ○地域貢献研修	○防火管理者 ○安全管理者 ○安全運転管理者
	【共通】	○自己理念の構築＝施設理念の共感的理解	～理念に基づく実行力から社会を創造し続ける～	
	【共通】	○自己理念の構築＝施設理念の共感的理解	～理念に基づく実行力から社会を創造し続ける～	

